

製品名: CD59 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81192**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	14.2kDa

抗原情報

遺伝子名	CD59
別名	1F5; EJ16; EJ30; EL32; G344; MIN1; MIN2; MIN3; MIRL; HRF20; MACIF; MEM43; MIC11; MSK21; 16.3A5; HRF-20; MAC-IP; p18-20
遺伝子 ID	966.0
SwissProt ID	P13987
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD59 (AA: 31-111) の精製された組み換え断片。

背景

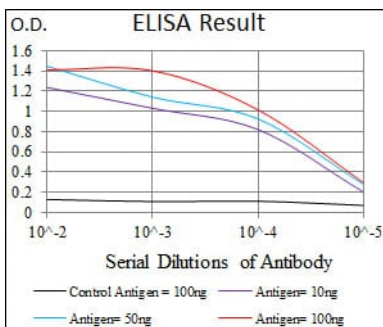
この遺伝子は、補体媒介性細胞溶解を制御する細胞表面糖タンパク質をコードし、リンパ球シグナル伝達に関与しています。このタ

ンパク質は補体膜侵襲複合体の強力な阻害剤であり、複合体の形成過程において補体 C8 および / または C9 に結合し、浸透圧孔形成に必要な C9 の複数コピーの複合体への組み込みを阻害します。また、このタンパク質は T 細胞活性化におけるシグナル伝達経路にも関与しています。この遺伝子の変異は CD59 欠損症を引き起こし、溶血性貧血および血栓症、さらには脳梗塞を引き起こします。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。

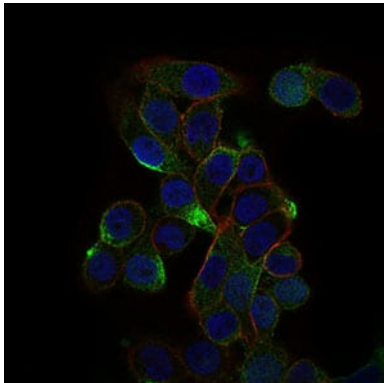
研究分野

-

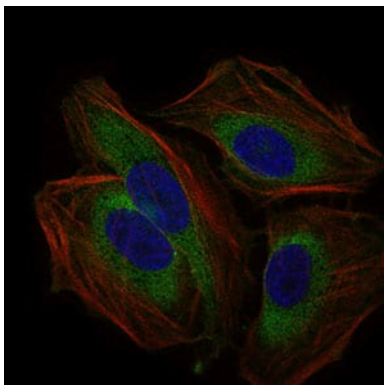
画像データ



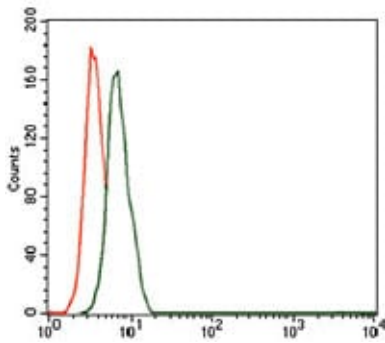
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



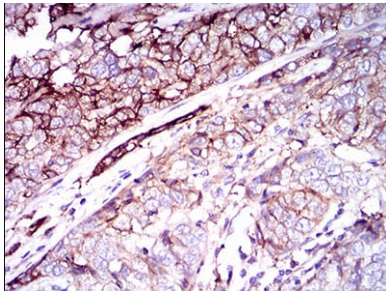
CD59 マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



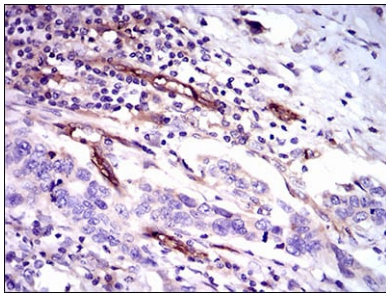
CD59 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD59 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD59 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD59 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。